

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

こころ × 子ども

『こころのふしぎ
なぜ? どうして?』
大野正人 / 原案・執筆
高橋書店

「こころ」にあるのか、「強さ」とは一体何か。こんな風に考えたことはありませんか?
今回紹介するのは、大人さえ答えに詰まるような疑問を、子ども向けに分かりやすく説明した1冊。楽しいイラストと簡潔な言い回しで、小さな子どもでもスラスラと読むことができます。
しかし、子ども向けの本と侮ることなかれ。的確な回答と優しさに満ちた文章は、大人の「こころ」にも深く響きます。(新井)



原作本から入ってもよし、映画から入ってもよし。

第32回



原作『みにくいシシュレック』
ウィリアム・スタイグ / 文・絵
セーラー出版
映画『シュレック』
マイク・マイヤーズ、
キャメロン・ディアス / 出演

今回は「みにくいシシュレック」を紹介。これは「シュレック」の原作です。親から少しは苦労した方がいいと、旅に出されるシュレック。王女と結婚できるというお告げを聞き、王女のもとへと行こうとします。しかしその姿に人びとは逃げるし、氣を失う人までいます。果たして無事に王女に会えるのでしょうか?…というのが絵本のあらすじ。
既に映画を観た方も多いと思いますが、絵本にはあつらひもドラゴンもでてきます。絵本ではお話の流れや、キャラクターの扱いが異なります。また、シュレックが見る悪夢や恐怖を抱く部分が絵本には描かれませんが、映画と絵本の違いを楽しんでください。(大塚)

NDCを知って図書館を有効活用!

今回は「2」。2は歴史です。日本史、世界史、地理の本があります。地理のなかに、地誌、紀行も含まれるため、問合せの多い旅行ガイドも2の棚にあります。やよい図書館ではカウンター横にもガイド本がありますので、併せてご覧ください。ガイド本を探すと、ぜひ歴史関係の本にも手を伸ばしてみてください。そこで紹介するのは『残酷な王と悲しみの王妃』。華やかで豪華な宮殿での暮らしは、果たして美しいものだったのでしょうか。波乱の人生を歩んだ5人の王妃に焦点をあてその生涯が語られます。教科書には出てこない、国と国のつながりも読むことができますよ。(坂井)



ここでは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。NDCとは簡単にいうと、0〜9の10のジャンルの分類方法のことをいいます。

Vol.3

『残酷な王と悲しみの王妃』
中野京子 / 著 集英社



クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい: 11月3日は、何の日でしょうか?

- ① 文化の日 ② いい実の日 ③ ひとみの日

こたえ:

館長が紹介する
「印象に残った一文」とは?

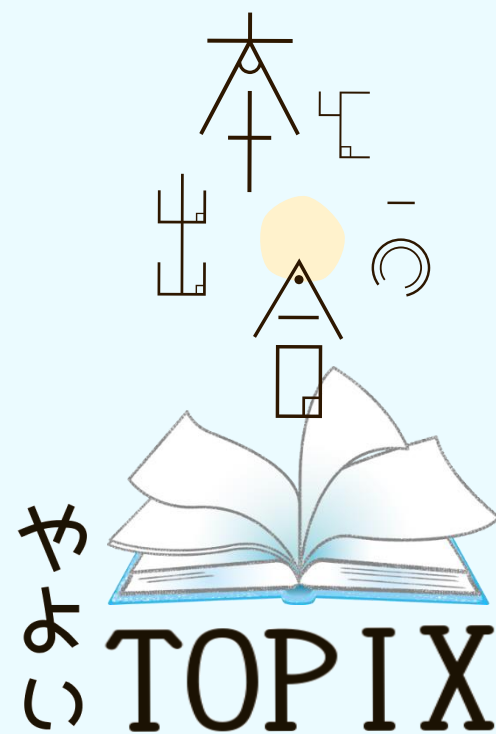


『まちかどちよい足しアート』
ワックワック / 著 グラフィック社



「何でもなかった場所が、道行く人の足を止めさせ、
笑いを誘い、感情をもたらしした瞬間に、
そこはアートになると思います。」

『作家と温泉』
草(ナギ)洋平 / 編 河出書房新社
お店、人物、土地など、「作家ゆかりの○○」と呼ばれるものは数多くあります。その中でも、温泉に焦点を当てたのが本書。作家たちが愛した温泉と、それにまつわるエピソード、効用がまとめられています。宿で起きた事件や、関連する作品の話も面白いのですが、見どころとしてオススメしたいのは、貴重な写真の数々。特に太宰ファンは必見ですよ! 巻末には宿の情報も載っているので、興味のある方はぜひ一読ください。(新井)



街中にあるゴミ箱や横断歩道、へこんだフェンスやちよとした壁のひび割れまで、普段誰もが目にしていないものが、彼の手にかければアートに生まれ変わります。通気口のふたが1本かけているだけなのに、そばに梯子と人影が描かれているだけで、荘大な逃亡劇が幕を開けるのです。ほんの少し視点を変えるだけで、街はこんなに楽しくなるのか! という驚きに満ちた1冊。芸術の秋ということで、皆さんも街の「アートな場所」を探してみませんか?(丸山)

記念日から見つける、とっておきの一冊。



秋も深まり、冷える日が増えてきました。そんな夜は、熱いお風呂にゆっくりと浸かりたいものです。今月は、11月26日の「いい風呂(126)の日」にちなんで、「お風呂」に関する本をお届けします。

- こんな本もありますよ
『東京湯巡り、徘徊酒』
島本慶 / 著 講談社
- 『日本の名湯めぐり』 関東編
JAF 出版社